令和７年４月１日
校　長　決　定

令和７年度　東京都立南葛飾高等学校定時制課程　学校経営計画

Ⅰ　目指す学校像

本校夜間定時制は、昭和２３年の設置以来、社会に貢献する有為な人材を育成してきた。本校は、次の教育目標を掲げ、教職員一丸となって、目指す学校像の実現に向け教育活動を積極的に推進していく。

【教育目標】

（１）人間の尊厳を認識し、自他の人格を尊重し、他者の痛みがわかる心豊かな感性をもつ人間を育てる。

（２）真理を探究しつづける意欲と、どんな困難にも負けない自己実現に向けた不断の努力を積み重ねる人間の育成を目指す。

【目指す学校像】　生徒の面倒をとことん見る学校

（１）寄り添った支援により、一人一人の生徒の個性を伸長する学校

（２）人権教育に力を入れ、いじめや差別のない学校

（３）学ぶことの楽しさ、面白さを感じさせ、自ら学ぶ姿勢をはぐくむ学校

（４）生活習慣を確立させ、メリハリのある生活を送ることのできる学校

Ⅱ　中期的重点目標　　【30 年後に南葛飾定時制を残すために、今できることを最大限に行う】

学級減により教員定数が減少に対して、定時制の教育活動の特長を維持していくための検討と実践を同時進行で進めていく。令和１２年度の生徒数急減期の到来に向けて、地域から必要とされる定時制高等学校としての在り方を固めていく必要がある。

（１）持続可能で組織的な学校運営を推進し、支え合い、協力し合う職場をつくる。

（２）学校生活を充実させ、生徒一人一人の成長を支援する学校づくりを進める。

Ⅲ　今年度の取組目標と方策　（★印：令和７年度重点取組事項）

○ 学習指導　【目標１】生徒の学習意欲を高め、基礎学力の向上を図る

(1) 生徒一人一人の個に応じた目標を設定し、生徒の学力向上を支援する指導を行う。

★(2) 各学期の学習評価に基づき、学期毎に教科・科目の目標を達成するための補充指導を確実に行う。

(3) 全ての教科・科目において探究的な学習の要素を取り入れる。

★(4) 日本語の理解に課題のある生徒への支援を的確に行う。

(5) ＩＣＴを活用した授業づくりを進める。一日一回以上、一人一台端末を必ず使う。

(6) 成績不振による原級留置を０にする。

○ 人権教育　【目標２】人権教育を推進し、生徒の人権意識を高める

(1) 自分を大切にするとともに他の人も大切にする指導、自他の生命を尊重する指導を行う。

(2) 人権課題に関する講演会、研修会においては、当事者や支援者の声を聴くことを重視する。

★(3) 外部関係機関との連携により同和問題の学習に取り組む。

(4) 人権教育においても、探究学習を取り入れる。

(5) 人権尊重教育推進校としての研究を推進し、研究成果を広く普及する。

○ 生活指導　【目標３】安全・安心な学校生活を担保する

(1) 生活指導の方針は組織的に検討し、指導は定時制全体で実施する。

(2) いじめや差別、暴力行為等を断じて許さない指導を徹底する。

(3) 安全指導を徹底し、警察署等関係機関と連携した講話や有識者を招いた講演会等を実施する。

(4) 規律ある生活を送らせ、マナーや規則を守る規範意識をはぐくむ。

○ 進路指導　【目標４】生徒の自立を支援し、進路希望を実現する

(1) 生徒一人一人の適性に応じた進路指導と就労支援を推進する。

(2) 採用選考における違反事例については、組織的な対応を行う。

○ 特別活動　【目標５】責任感と連帯感、自主性を育み、学校やホームルームへの帰属意識を高める

(1) ホームルーム活動、生徒会活動、部活動等を活性化する。

(2) 演劇発表会や弁論大会、文化祭、球技大会等の学校行事を充実させる。

○ 心と身体　【目標６】生徒の心と身体の健康を維持・増進する

★(1) 生徒に寄り添い、生徒の心をはぐくむ支援や指導を行う。

(2) 体力の向上や健康への意識を高める指導を行う。

(3) 組織的な教育相談をより一層推進し、外部とも連携して生徒への支援を行う。

(4) 個別の支援計画・指導計画を作成し、個に応じた組織的指導体制を確立する。

○ 学校経営　【目標７】 組織的な学校運営を推進する

(1) 企画は主任と担当者を中心に行い、運営は全職員で取り組む。

(2) ５Ｓ活動に取り組み、学習環境及び執務環境の美化、整備を進める。

○ 募集活動　【目標８】生徒募集・広報活動を充実し、応募者を増加させる

(1) 授業公開や学校見学会等を組織的、計画的に実施し、本校の特色ある教育活動をＰＲする。

(2) 丁寧な広報活動と的確な情報提供により、中学生及び保護者が安心して応募できるよう支援する。

★(3) 転入・編入を希望する生徒への募集活動を強化し、受け入れを確実に行う。

○ 地域連携　【目標９】保護者や地域と連携した学校づくりを進める

(1) 授業や学校行事を公開し、開かれた学校運営を推進する。

(2) 関係諸機関や地域と連携し、生徒の安全確保と地域に貢献する防災対策を構築する。

○ 資質向上　【目標 10】教員の資質・能力を向上させ、実践的指導力のある教員を育成する

(1) 授業研究や教育課題研究を推奨するとともに、今後の定時制教育の在り方について考える。

(2) 服務事故防止研修を実施し、服務事故と体罰の根絶に努める。

(3) 長時間勤務の是正と教職員の意識改革を図るよう努める。

Ⅳ　今年度の数値目標

1　中途退学率 0%、全員進級、全員卒業を目指す。

（中途退学率 R3:13.8%、R4:8.4%、R5:12.9%、R6:6.0%）

2　学校評価アンケート「学校生活が充実している」で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した生徒の割合 95%以上とする。

（R3：79.8%、R4:79.0%、R5:78.8%、R6:98.0%）

3　進路決定率を 85%以上とする。

（R3:76.0%、R4:75.7%、R5:89.7%、R6:80.0%）

4　全教員平均で夏休取得率 100%、年休取得 15 日以上を目指す。

（R4:98.2%,16.2 日、R5:100%,18.2 日 R6:100%,16.2 日）

5　転入学、編入学、転籍等、途中入学生徒数を 15 名以上とする。

（R3:14 名、R4:10 名、R5:18 名、R6:9 名）

以　上